

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 23 日 (2021.12.23)

【公開番号】特開 2021-166640 (P2021-166640A)

【公開日】令和 3 年 10 月 21 日 (2021.10.21)

【年通号数】公開・登録公報 2021-051

【出願番号】特願 2020-71212 (P2020-71212)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 9 日 (2021.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を発射する発射手段と、

発射された遊技球が案内される遊技領域と、

前記遊技領域を流下する遊技球が内部領域へ入球可能な開状態と、前記遊技領域を流下する遊技球が内部領域へ入球不能な閉状態とに状態変化可能な開閉部材を有し、特定領域を通過した遊技球のみが前記内部領域に入球可能な可変入球手段と、

前記内部領域に入球した遊技球が入球可能な特別入球手段と、

前記特別入球手段に遊技球が入球した場合に、遊技者に有利な特別遊技状態を付与可能な特別遊技状態付与手段とを備えた遊技機であって、

前記特定領域を通過した遊技球が入球可能な契機入球手段と、

前記特定領域を通過した遊技球が前記特別入球手段へ流下可能であり、前記契機入球手段へ流下不能な第 1 ルートと、

前記特定領域を通過した遊技球が前記契機入球手段へ流下可能であり、前記特別入球手段へ流下不能な第 2 ルートと、

特定状態において、遊技球の行き先を少なくとも前記第 1 ルート又は前記第 2 ルートへ振分け可能なルート振分け手段と、

前記可変入球手段の内部領域において、少なくとも遊技者に有利な有利状態と、該有利状態よりも遊技者に有利でない非有利状態とに状態変化可能に設けられ、前記第 1 ルートへ流下した遊技球の挙動に変化を生じさせ得る可動体と、

前記契機入球手段への遊技球の入球に基づき、所定の作動条件が成立した場合に、前記可動体に所定動作を実行させる所定の前記有利状態の制御を実行可能な制御手段と、

前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な始動入球手段と、

前記始動入球手段への遊技球の入球に基づき、所定の開放契機が成立した場合に、前記可変入球手段を所定の態様で開放する開放遊技状態を実行可能な開閉制御手段とを備え、

前記特定領域は、遊技球が 1 球ずつ通過可能かつ 1 箇所のみ設けられ、

前記契機入球手段へ入球した遊技球が、その後前記特別入球手段へ流下不能に構成され

、

前記制御手段は、

少なくとも前記始動入球手段への遊技球の入球に基づいて前記可変入球手段に所定の開

放を実行させている所定の前記開放遊技状態中に前記始動入球手段へ遊技球が入球して所定の条件を満たした場合に付与可能な利益として前記可動体に前記所定動作を実行させる前記所定の有利状態とする制御を実行可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記の目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、

遊技球を発射する発射手段と、

発射された遊技球が案内される遊技領域と、

前記遊技領域を流下する遊技球が内部領域へ入球可能な開状態と、前記遊技領域を流下する遊技球が内部領域へ入球不能な閉状態とに状態変化可能な開閉部材を有し、特定領域を通過した遊技球のみが前記内部領域に入球可能な可変入球手段と、

前記内部領域に入球した遊技球が入球可能な特別入球手段と、

前記特別入球手段に遊技球が入球した場合に、遊技者に有利な特別遊技状態を付与可能な特別遊技状態付与手段とを備えた遊技機であって、

前記特定領域を通過した遊技球が入球可能な契機入球手段と、

前記特定領域を通過した遊技球が前記特別入球手段へ流下可能であり、前記契機入球手段へ流下不能な第１ルートと、

前記特定領域を通過した遊技球が前記契機入球手段へ流下可能であり、前記特別入球手段へ流下不能な第２ルートと、

特定状態において、遊技球の行き先を少なくとも前記第１ルート又は前記第２ルートへ振分け可能なルート振分け手段と、

前記可変入球手段の内部領域において、少なくとも遊技者に有利な有利状態と、該有利状態よりも遊技者に有利でない非有利状態とに状態変化可能に設けられ、前記第１ルートへ流下した遊技球の挙動に変化を生じさせ得る可動体と、

前記契機入球手段への遊技球の入球に基づき、所定の作動条件が成立した場合に、前記可動体に所定動作を実行させる所定の前記有利状態の制御を実行可能な制御手段と、

前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な始動入球手段と、

前記始動入球手段への遊技球の入球に基づき、所定の開放契機が成立した場合に、前記可変入球手段を所定の態様で開放する開放遊技状態を実行可能な開閉制御手段とを備え、

前記特定領域は、遊技球が１球ずつ通過可能かつ１箇所のみ設けられ、

前記契機入球手段へ入球した遊技球が、その後前記特別入球手段へ流下不能に構成され

、
前記制御手段は、

少なくとも前記始動入球手段への遊技球の入球に基づいて前記可変入球手段に所定の開放を実行させている所定の前記開放遊技状態中に前記始動入球手段へ遊技球が入球して所定の条件を満たした場合に付与可能な利益として前記可動体に前記所定動作を実行させる前記所定の有利状態とする制御を実行可能に構成されていることをその要旨としている。